

Topics

AJOSC's トピックス Topics

平成18年(2006年)6月

AJOSCのロゴマークを策定。



AJOSC
全日本社会貢献団体機構

7月

- 第1回通常総会ならびに贈呈式を開催しました。
- 山田新理事長が就任。



7月

- 平成18年度の助成事業を決定しました。
- 第1回社会貢献大賞を決定しました。



第1回社会貢献大賞に選ばれた「未来っ子カーニバル」

11月

活動内容紹介の充実を図るため、ホームページをリニューアル。

また、HYPERLINK"<http://www.ajosc.org/subsidy/presently/subsidy03.html#09>"助成事業のひとつである「東京シューレ葛飾中学校」の平成19年(2007年)4月の開校が正式に認可されました。



12月

社会貢献大賞受賞・大遊協の主催による「第20回未来っ子カーニバル」が開催され、当機構の事務局も参加しました。



平成19年(2007年)3月

- 平成19年度の助成事業募集を開始。
- 臨時総会を開き、規約の一部改正と専務理事を専任。

国内・海外 Topics

平成18年(2006年) 4月 5月 6月 7月 8月

- 日本赤十字社に寄せられた「フィリピン地滑り災害救援金」が1億5,000万円超に。
- マイクロソフト株式会社がNPOの情報格差解消に向けた支援策「NPO-J」を開始。
- 「財団法人 さわやか福祉財団」「社団法人 長寿社会文化協会(WAC)」などの呼びかけにより、「地域創造ネットワーク・ジャパン」設立。
- 内閣府国民生活局が「NPO法人情報ポータルサイト」を開設。
- Yahoo! JAPANが、会貢献活動の一環として非営利団体「Yahoo!基金」を設立。
- 日本赤十字社へ寄せられたジャワ島中部地震災害救援金20億2,300万円超に。
- Yahoo! JAPANが、「みんなで止めよう温暖化TOKYOソーラーシティプロジェクト」募金を開始。
- WWFの日本委員会、北極圏の温暖化に追われるホッキョクグマの名前を募集。

[新賛助会員様のご紹介]

平成18年度は、株式会社ヤクルト本社様、株式会社ロッテ様に新賛助会員になっていただきました。ここでは、各企業様の社会貢献活動への取り組みについてご紹介します。

株式会社ヤクルト本社

ヤクルトスワローズ野球教室

プロ野球選手との交流を通して、全国の子どもたちにスポーツの楽しさ、健康の素晴らしさを知ってもらうために昭和51年(1976年)より開催。毎年、全国約31か所、約4,300人の子どもたちが参加しています。

愛の訪問活動

ヤクルトレディが商品をお届けしながら、独り暮らしのお年寄りの安否を確認し、話し相手になるという活動を昭和47年(1972年)から実施。現在、全国211の自治体より要請を受け、約5,200人のヤクルトレディが、約6万6,000人のお年寄りのお宅を訪問しています。

ヤクルト工場祭

各地の工場で、年1回「ヤクルト工場祭」を開催。地域住民とふれあうとともに、チャリティーイベント等を通じて福祉に役立てるなど、社会貢献を進めています。



株式会社ロッテ

千葉ロッテマリーンズ少年野球教室

子どもたちにもっとスポーツの楽しさと夢を、というテーマのもと、毎年千葉ロッテマリーンズの選手たちによる野球教室を開催。野球という国境を越えたスポーツを通して青少年の健全育成に真剣に取り組んでいます。

ベルマーク運動

ベルマーク運動の協賛会社として、長年にわたりベルマーク財団に協力。協賛会社とPTAのボランティアで生み出された資金は、日本国内の学校作り等、様々な教育援助活動に使われます。

壁新聞の寄贈

小中学校での生徒の活動やPTAの活動を相互に広く知ってもらうための壁新聞「ロッテ学級の話」を、全国の小中学校を対象に、昭和39年(1964年)7月の創刊以来寄贈してきました。この壁新聞は、現在3,200以上の小中学校で読まれています。

9月

- 環境省・気象庁が「地球温暖化観測推進事務局」を設置。
- 国土交通省が「国土交通省環境行動計画モデル事業」の公募を開始。

10月

- 新銀行東京が、環境配慮活動やCSRを推進する中小事業者向けに金利を優遇する「環境・CSR応援団」の取り扱いを開始。
- あしなが育英会が街頭募金を開始。

11月

- ユニセフが写真展「EYE SEE (子どもたちの目が見たもの)」を開催。

12月

- ユニセフ創設60周年。
- 内閣府が「アフリカでの感染症等の疾病対策推進を目的とした「野口英世アフリカ賞」を創設。

平成19年
(2007年)

1月

- 地球温暖化防止をテーマにした映画「不都合な真実」公開。

2月

- 日本ユニセフ協会が「ユニセフ・コンビニ募金」を開始。
- UNEP(国連環境計画)が「10億本植樹キャンペーン」を開始。

3月

- 環境省が「地球温暖化の影響 資料集」を作成。